

謹賀新年

明けましておめでとうございます。令和6年は石川県能登半島地震と羽田空港の旅客機事故という衝撃的な事件で始まりました。

特に地震に関しては今後東南海沖地震や、富士山噴火という難題を抱えている御殿場市民として他人事ではなく、震度7という強い揺れの時は机の下に隠れてじっとしているよりは何が何でも外に出た方が良いのだという事を認識させられました。

平時の防災訓練のように救護所に集合というのは、建物が崩壊し道路が寸断されインフラが全く機能しない場合には現実的ではなく、といて、自院が無事である保証もなく、ここまで激しい自然災害の場合にどう対応できるのか改めて考え直さなければなりません。またどんな災害でも3-4日持ちこたえれば助けが来ると思っていました。それも甘いという事も思い知らされました。食料も電気も燃料ももう少し余裕を持って備蓄しなければいけないのかもしれない。

暖冬とはいえこれから寒さが厳しくなり、まだまだコロナもインフルも流行しています。何はともあれ健康が一番大切ですので有事に際し心折れないように体力を蓄え、風邪薬の予備も手元におくようにしておくことをお勧めします。

